

(仮称) 大宮警察署跡地公園におけるPark-PFI等公民連携事業方針

資料1①

さいたま市都市局みどり公園推進部都市公園課

■ 対象公園の概要

(仮称) 大宮警察署跡地公園の敷地は、北大宮駅から西に約100m、大宮区と北区の区境に位置しています。
平成30年まで旧大宮警察署が設置されていた敷地であり、移転により生じた約7,000㎡の空地を街区公園として整備するものです。
対象地周辺は、戸建住宅や集合住宅を中心とした住宅地としての土地利用がメインとなっており、徒歩圏を中心とした近隣住民からの利用需要が見込まれます。

なお、本公園の整備にあたっては、こども・子育て世帯の目線に立った公園整備を行うこととしています。

項目	公園概要
種別 (予定)	街区公園
開設面積 (予定)	約 7,000 ㎡
所在地	大宮区土手町1丁目

課題の整理

● 本公園の利用を促進する便益施設や遊戯施設

本公園は住宅街における貴重なオープンスペースとして整備されるため、地域コミュニティ醸成への寄与、市民の憩いの場としての活用といった高いポテンシャルを有しています。本公園の利用促進にあたっては、整備コンセプトや地域要望を踏まえた便益施設 (物販・飲食) や屋外施設、遊戯施設等、魅力的な整備を行うことが重要です。

■ 公民連携事業の実施方針

本公園の 目指すべき姿

- 主に対象地周辺エリアからの来園者の交流・憩いの場所として、「こどもの多様な遊び場」「子育て世帯や地域住民の交流の場」「花と緑豊かなオープンスペース」等の機能を確保する。
- 上記に加えて、園内施設と親和性の高い収益施設を民間主導で設置することにより、空間としての魅力アップを図る。

必要な機能や 公園施設

周辺エリアの状況と本公園の位置づけ、本公園の整備方針、地域住民の意見等を参照(P.1~2)

民間事業者のノウハウや資金を活かした事業の推進

事業 スキーム (案)

- 事業方式: 都市公園法に基づく公募設置管理制度 (Park-PFI)
公募対象公園施設: 飲食施設、休憩所など
特定公園施設: 芝生広場、花壇、便所、照明施設等の公共部分
事業期間: 原則20年間
- 事業手法として考えられる各パターン

事業手法	Park-PFI	Park-PFI+管理許可	Park-PFI+指定管理
管理範囲	公募対象公園施設のみの管理	公募対象公園施設とその周辺エリアの管理	公園の全域の管理
費用負担	独立採算	独立採算	官民負担

■ 事業スケジュール (案)

令和6~7年度

令和8年度

令和9~11年度

令和12年度~

サウンディング型
市場調査
事業化検討

公募・事業者選定

設計・工事

事業開始
(20年間を想定)

■ 公民連携事業の導入エリア



■ 周辺エリアの状況と本公園の位置づけ



① 対象地周辺の競合公園の状況

- ・ 本公園の周辺 (特に半径500mの徒歩圏) には、大宮公園を除くと小規模な公園がわずかに点在しているのみであり、本公園は地域住民にとっての貴重なオープンスペースとなり得るポテンシャルを有している。
- ・ 本公園の周辺に点在する公園は、広場と小規模な遊具程度の施設内容であり、特徴的な施設内容の公園はあまり見られない。



② 対象地周辺の物販施設、飲食施設の状況

- ・ 本公園の周辺 (特に半径500mの徒歩圏) には、コンビニやスーパーマーケット等の物販施設が少なく、飲食施設についても小規模の店舗はわずかにあるものの、大規模店舗は非常に少ない。また直線距離で近い位置に店舗があったとしても、鉄道や幹線道路の影響で実際のアクセス性は悪い状況にある。
- ・ したがって、本公園内への物販、飲食機能の導入は一定の需要があるものと考えられる。(p.2に示した公園づくりワークショップでも近隣住民から物販、飲食施設の要望が多数挙がっている)

（仮称）大宮警察署跡地公園におけるPark-PFI等公民連携事業方針

さいたま市都市局みどり公園推進部都市公園課

■ 本公園の整備方針

さいたま市では、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同しており、市長が令和5年に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、「子育て世代を中心に選ばれる都市に！」をスローガンとして様々な取り組みを推進しています。

「こどもまんなか応援サポーター」とは

こども家庭庁が掲げるこどもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する「こどもまんなか宣言」の趣旨に共感・賛同しその取り組みを応援し、自らもアクションに取組む個人や地方自治体、団体や企業のこと。

本公園の整備にあたっては、こどもの遊び場の確保や親同士・地域住民との交流機会の創出に資する「こども・子育て世帯の目線に立った公園」をコンセプトとしています。整備のポイントとしては以下の3点が挙げられます。

子供たちが天候に関係なく遊べる施設

夜間の治安や周辺の迷惑駐車への配慮

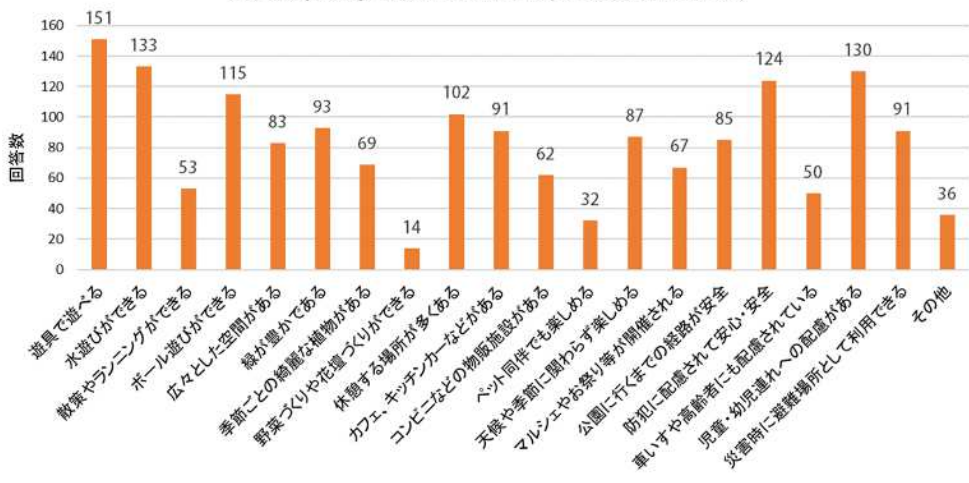
幅広い世代の健康づくりができる施設

■ 公園基本計画策定に向けたアンケート調査の結果

本公園は、こどもや子育て世帯を中心とした地域住民からの意見を取り入れながら計画検討を行うこととしています。以下に、地域住民に対して実施したアンケート調査の概要と結果（一部抜粋）を示します。

項目	内容	詳細
手法	・ web形式	・ アンケート対象者に意見募集チラシを配布し、QRコードからアクセスして回答を入力してもらう
対象者	・ 実際に公園を利用すると思われる誘致圏内の未就学児や児童及びその保護者、住民	・ 対象地から半径約500m圏内にある幼稚園及び保育園利用者（6園） ・ 対象地の近隣にある小学校の生徒及び保護者（2校） ・ 対象地から半径約500m圏内にある自治会住民（7自治会）
設問内容	・ 普段の公園利用に関する設問 ・ 本公園の要望に関する設問	・ 回答者の基礎情報（年齢、子供の有無）、公園利用頻度、本公園の内容に関する要望、管理運営等の参加意向、その他自由回答
実施期間	・ 2024年7月22日～8月15日	
取得数	・ 191件	・ 30～40代から144件、子供のいる方から163件取得

公園内容の希望（どんな公園であれば利用したいか）



■ 基本計画策定に向けた市民ワークショップの結果

本公園の基本計画策定にあたっては、こどもや子育て世帯を中心とした地域住民による公園づくりワークショップを開催し、公園整備に対する意見交換、話し合いの場を設けています。以下に概要を示します。

項目	内容	備考
参加者	・ 実際に公園を利用すると思われる誘致圏内の児童及びその保護者、住民	・ 対象地の近隣にある小学校の生徒及び保護者（2校）、対象地から半径約500m圏内にある自治会住民（7自治会）の中から参加応募のあった方
開催回数	・ 計2回開催	・ 第1回は2024年8月25日（日）に開催 ・ 第2回は2024年11月23日（土）に開催予定
参加者数	・ 第1回は36名が参加 ・ 5班に分かれてグループワークを実施	・ 第1回の参加者内訳は、大人20名、小中学生11名、未就学児5名 ・ 発展的な話し合いの場とするため、参加者は原則、第1回、第2回通して参加する

第1回のワークショップで出された意見のうち、各班で共通していたキーワードを以下に示します。

第1回

どんな公園にしたいか、みんなで考えよう

第2回

どんな施設が欲しいか、みんなで考えよう

	分 類	共通していたキーワード
すべての班で見られたキーワード	遊び、活動	・ ボール遊び
	季節の遊び、活動	・ 水遊び
	快適性・利便性	・ 日陰（屋根付きスペース、緑陰、パーゴラ等含む） ・ 休憩施設（ベンチ、テーブル、椅子等）
	遊戯施設	・ 遊具（具体的な遊具名の意見多数）
	イベント	・ 花火
多くの班で見られたキーワード	物販施設	・ 物販施設（スーパー、コンビニ、具体的な物品含む） ・ 自動販売機（食べ物、飲み物、アイス、ベビーフード等）
	飲食施設	・ カフェ（ベーカリーカフェ、犬同伴、テラス付き等）
	自然環境	・ 季節を感じる植栽（落葉樹、紅葉、自然豊か等を含む）
	イベント	・ お祭り（盆踊り、夏祭り含む）
	交流	・ 地域交流、多世代交流（お年寄りと子供の交流機会等）

■ 基本計画策定に向けた住民説明会の結果

説明会での周辺住民の方の要望
・ 安心、安全に利用できるように工夫。特に夜間の治安面が心配。
・ 周辺の迷惑駐車対策
・ 防災機能を備えた公園
・ 物販販売施設（小規模スーパーなど）の設置
・ 健康づくりができる公園（ランニングやウォーキングコース）
・ ボール遊びが出来る公園
・ 日陰で休憩できる施設の設置
・ 健康づくりのイベントの定期開催

(仮称) 大宮警察署跡地公園におけるPark-PFI等公民連携事業方針

さいたま市都市局みどり公園推進部都市公園課

官民連携事業の導入エリアの状況

